

各様式については、記入又は選択する欄を分かりやすくするために水色で、記入・選択する項目を青文字で表示しておりますが、実際の提出は、モノクロ（白黒）印刷で差し支えありません。（以下、全ての様式において同様）

令和4年度 業績優秀者返還免除申請書

令和5年1月5日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長殿

・本申請書記載内容に相違ありません。

・特に優れた業績による返還免除を申請します。

・日本学生支援機構が、免除認定者の職業や業績等を含めた特に優れた業績による返還免除に関する調査を行うときには、その調査への協力を求められることを承知しています。

フリガナ

氏名

実際の提出日で

大 学 院 名	神戸大学大学院													
課 該 当 の 課 程 の □ を ■ に し て く だ さ い	☒ 修士（博士前期）課程	☐ 専門職学位課程	☐ 博士（博士後期）課程											
研究科名・専攻名	〇〇研究科△△専攻					学 籍 番 号	123L456L							
奨 学 生 番 号	6	2	1	0	6	1	2	3	4	5	6	生 年 月 日	昭 和 平 成	年 月 日

←いずれかを選択

専攻がよく抜けていま

学籍番号のアルファベットは大文字

大学院における研究課題等（必ず記入してください）

概要	(記 入 漏 れ が 多 い で す ! !)
----	---------------------------

←課程在学中の研究テーマを記入。個別の各研究業績を記載する欄ではありません。法科大学院の学生は在学中に学んだ内容を記載してください。

業績の種類

- (1) 業績を証明する資料（申請者の氏名が確認できるもの）を添付し、申請書に書かれた資料番号を付記してください。
- (2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。
- (3) 返還免除内定者の方は「1. 学位論文その他の研究論文」に記載してください。

業績の種類					資料番号	学校 確認欄	
1	学位論文 その他研究論文	学位論文	【業績項番】－【枝番】で統一。 どの項目が何番目の資料かわかりやすく 記入してください。			1－1	✓
		研究論文	査読付き 原著論文	受賞 ・表彰	※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は左欄に ○を記載してください。 ※①著者名、②論文名、③学術雑誌名（該当頁）、④発行日、⑤ その他「掲載決定（予定）」等を記載してください。	1－2	✓
			○		1. ①（本人氏名、共著者名）、②「（論文名）」、 ③「（学術雑誌名）」、④（発行日）		
		学会での発表		○	※①発表者名、②題目、③会議名、④主催者名、⑤発表日、⑥表 彰・受賞等を記載してください。 1. ①（本人氏名、共同発表者名）、②「（題目）」 ③「（会議名）」、④主催者名、⑤（発表日）、 ⑥●●ポスター賞受賞 2. ①～⑥	1－3	✓
						1－4	✓
		論文及び学会での発表 により受賞または表彰 による機構以外の給付 奨学金の獲得や外部資 金の獲得	●●財団主催の●●研究会で表彰され、●●財団研究支援金を獲得した。 （資料は「●●表彰により支援金を給付する」と記載された賞状など）				✓
日本学術振興会の特別 研究員に採用、また は、民間財団等が公募 している競争的資金を 獲得することにより奨 学金を辞退	日本学術振興会の特別研究員DC 2 に採用され、奨学金を辞退した。 （資料は「特別研究員 証明書」など）				✓		

業績の種類			資料番号	学校 確認欄
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	大学院設置基準第16条は修士課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士（後期）課程は該当しません。		
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	大学院設置基準第16条の2は博士課程の前期の課程の修了要件に関する規定であるため、本項目に博士（後期）課程は該当しません。		
4	(専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)			
5	発明	※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分を記載し、発明（考案）者名、出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等を記載してください。		
6	授業科目の成績	成績証明書 ●●証明書など	6－1 6－2	✓ ✓
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	※複数の期間にわたって同様の補助業務を行っているが、複数の期間でも一期間でもひとつの業績として評価される場合は、一期間の業績のみにしてください。複数の期間の記載及び資料の添付は不要です。		
8	(専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	※発表会等の名称、開催日、開催場所、順位（●●人中●位）などを記載してください。 ※発表会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。		
9	(専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	※競技会等の名称、開催日、開催場所、順位（●●人中●位）などを記載してください。 ※競技会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。		
10	(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績（公益の増進に寄与した研究業績）			

令和4年度 推薦理由書

令和5年4月1日

独立行政法人
日本学生支援機構理事長殿

(この日付は変えないでください)

下記の学生は、貴機構の特に優れた業績による返還免除に該当することを認め、推薦します。

国立大学法人 神戸大学長 藤澤 正人

課程 該当の課程の□を ■にしてください	☒ 修士（博士前期）課程	☐ 専門職学位課程	☐ 博士（博士後期）課程 ※
研究科名・専攻名	〇〇研究科△△専攻		学籍番号 123L456L
奨学生番号	専攻がよく抜けています 622-06-123456		学籍番号のアルファベットは大文字
氏名	神戸 太郎		

◆特に優れた業績の該当項目

以下の項目は、記入不要

業績の種類		学内における教育研究活動等に関する業績	学外における教育研究活動等に関する業績
評価対象となった項目に○（特に重視した項目については◎）を記入			
1	学位論文その他の研究論文		
2	大学院設置基準第16条第1項に定める特定の課題についての研究の成果		
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果		
4	著書、データベースその他の著作物 （第一号及び第二号に掲げるものを除く。）		
5	発明		
6	授業科目の成績		
7	研究又は教育に係る補助業務の実績		
8	音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績		
9	スポーツの競技会における成績		
10	ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績		
11	その他機構が定める業績 ※2		

※1（本機構に提出された）学内選考規程等で定められた評価項目の該当項番号等を記載してください。

（例：第1条第1項、第6－②など）

※2 博士課程返還免除内定者は、修業年限内に課程を修了すること（修業年限の終期より前に貸与期間が終了する場合は、修業年限で修了見込であること）を業績として推薦できます。この場合、「11 その他機構が定める業績」欄に○又は◎を記入してください。その他評価した実績がある場合は当該項目に○を記入してください。

◆選考及び順位付けの理由（200字程度で記載してください）※博士課程はガイドラインを満たしている内容を記入してください

◆推薦順位（推薦者中の順位）

当該課程の推薦者	人中	推薦順位	位	学校番号	
----------	----	------	---	------	--

※ 博士課程の奨学生を推薦する場合は、裏面についても記入してください。

◆博士課程の業績評価に関するガイドラインについて（修士課程・専門職学位課程については記入不要）

ガイドラインを満たしている項目			資料番号
該当の項目に○をつけ、資料番号を記入してください。			
(1)		学位論文の教授会での高い（平均水準以上）評価 ※	
(2)		査読付き学術雑誌への原著論文掲載 ※	
(3)		論文及び学会での発表に対する表彰又は受賞 ※	
(4)		日本学術振興会の特別研究員に採用され奨学金貸与を辞退した場合、または、これと同等な民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退することとなった場合、上記(1)～(3)に準じる実績	
(5)		研究領域の特性により前記(1)～(3)の実績を挙げるのに時間を要することなどから、同じ研究領域の博士課程学生のうち概ね半数以上が在学中に当該実績を挙げられない場合は、当該実績に準じる実績	事情書
(6)		「音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績」あるいは「スポーツの競技会における成績」において、国際的レベル・全国レベルでの顕著な成績（入賞）等	
(7)		返還免除内定者	

※平成30年度以前に奨学生に採用された者については、「学位論文その他の研究論文」以外の業績において上記(1)～(3)と同水準の実績が認められる場合も業績優秀者として、項目等を記入してください。

業績表紙

学籍番号のアルファベットは大文字

資料通し番号	1
研究科(選択)	〇〇研究科
課程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎

業績大カテゴリー

1. 学位論文その他研究論文

業績小カテゴリー

1-1. 学位論文

業績名称・・・論文題目(記入)

〇〇界における〇〇に関する一考察

以下の項目が書かれたページを印刷して、この業績表紙の後ろに付けて提出してください。
複数の項目が書かれたページは、複数枚提出する必要はありません。
極力、両面印刷で作成してください。

提出チェック	項目
✓	論文表紙(研究科様式。研究科指定の様式がない場合は任意で作成) (研究科、専攻、学籍番号、申請者(執筆者)名、提出(予定)日が書かれた箇所をマーカーペンでマークすること。論文表紙に該当項目の記載がない場合は、余白部分に手書きで記入すること)
✓	論文要旨(全文) ※研究科で提出が義務付けられていない場合も、A4用紙1～2ページ程度で作成すること。

学位論文について、未提出の場合は提出
予定日（研究科期限等）を記載してくだ
さい。

〇〇研究科様式

2022年1月17日提出

修士論文

論文題目：

〇〇界における〇〇に関する一考察

業績表紙に指示のある箇所について、マーカーペンで
マークをしてください。（以下同様）

〇〇研究科

△△専攻

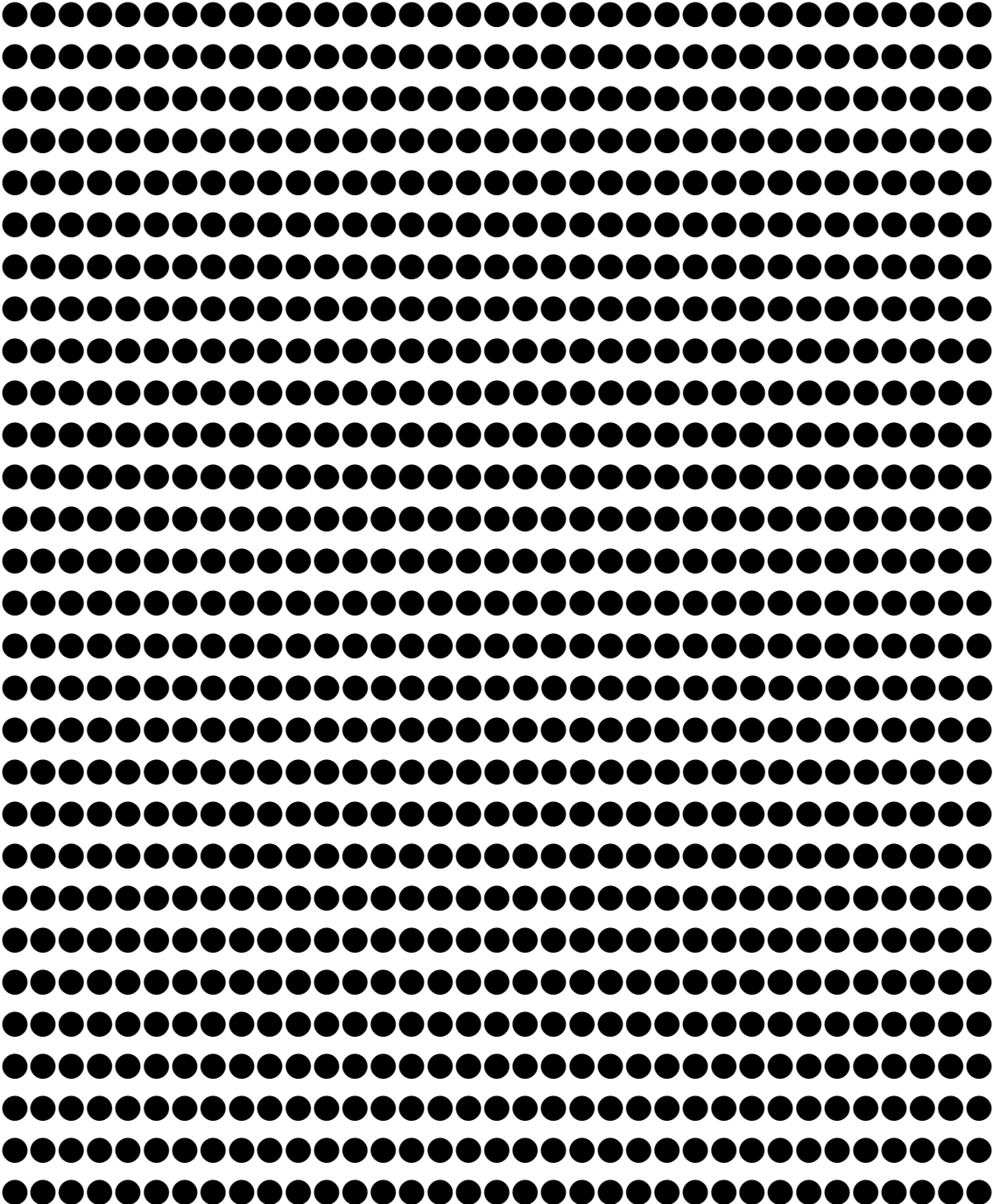
指導教員 ●● ●● 教授

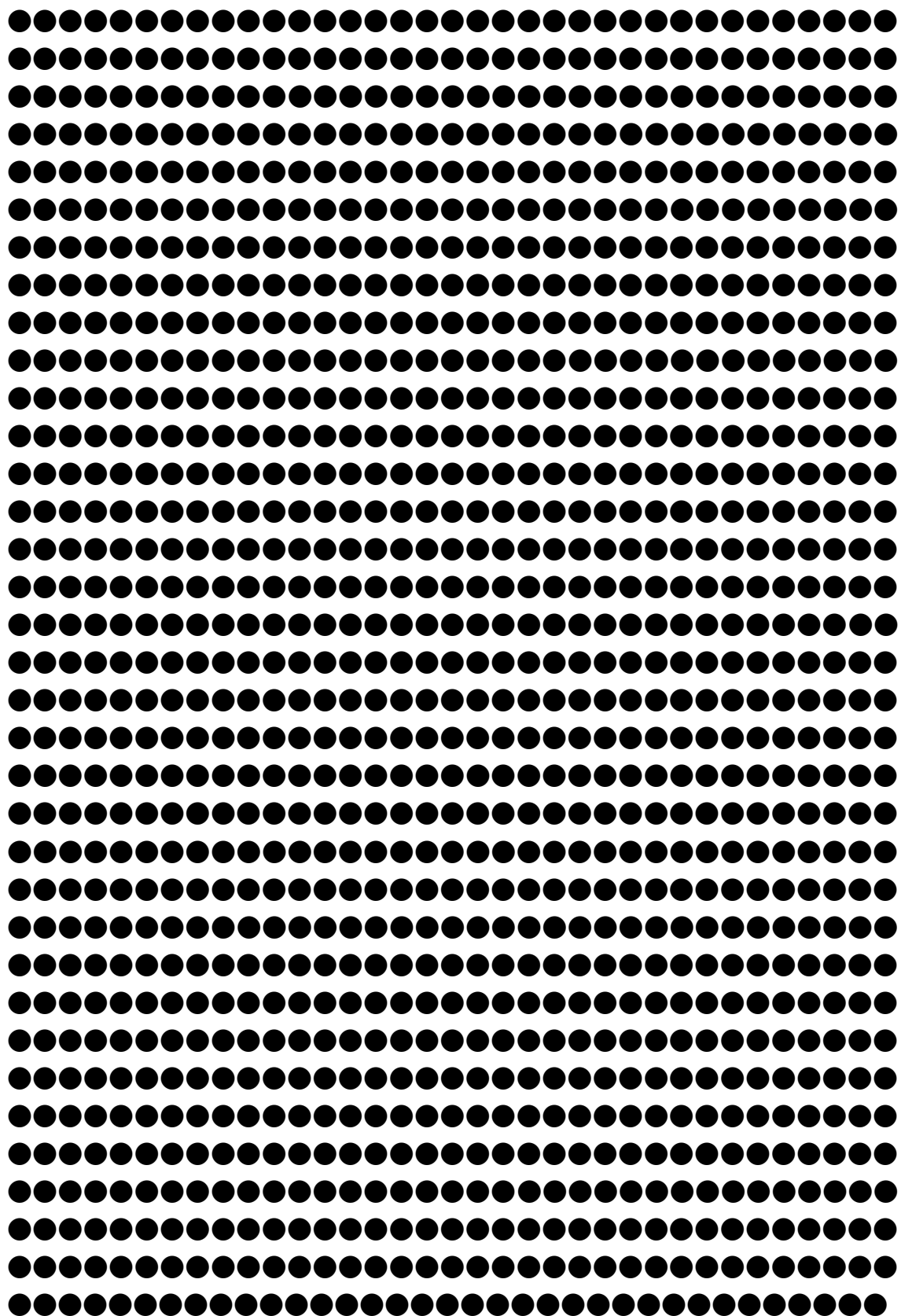
学籍番号 ○○○○L○○○L

氏 名 神戸 太郎

○○研究科 △△専攻
学籍番号 ○○○L○○○L
氏 名 神戸 太郎

修士論文要旨





業績表紙

学籍番号のアルファベットは大文字

資料通し番号	2
研究科(選択)	〇〇研究科
課程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎

業績大カテゴリー

1. 学位論文その他研究論文

業績小カテゴリー(選択)

1-3. 研究論文(国内で発表されたもの)

業績名称・・・論文題目(記入)

〇〇界におけるパラダイムシフトについて

以下の項目が書かれたページを印刷して、この業績表紙の後ろに付けて提出してください。
複数の項目が書かれたページは、複数枚提出する必要はありません。
極力、両面印刷で作成してください。

提出チェック (該当するページ がない場合は「なし」と記入)	項目
✓	論文の表紙、1ページ目など、論文題目、申請者名(著者名)が明記されたページ(該当箇所をマーカーペンでマーク)
✓	論文本文の1～2ページ目
✓	【発表済みの場合】 学術誌の表紙、又はウェブサイトのトップページ
✓	【発表済みの場合】 学術誌又はウェブサイトの目次(論文題目、申請者名が明記されたページ)(該当箇所をマーク)
✓	【発表済みの場合】 学術誌又はウェブサイトの発行日(掲載日)が明記されたページ(日付をマーク)
なし	【発表前の場合】 掲載決定通知の写し(掲載決定通知日、掲載予定日をマーク) ※ 決定通知日が、返還免除申請日以前である必要がある。
✓	【受賞した場合】 賞状・決定通知等のコピー ※ 学術誌掲載における受賞は、独立した業績としては扱いません。

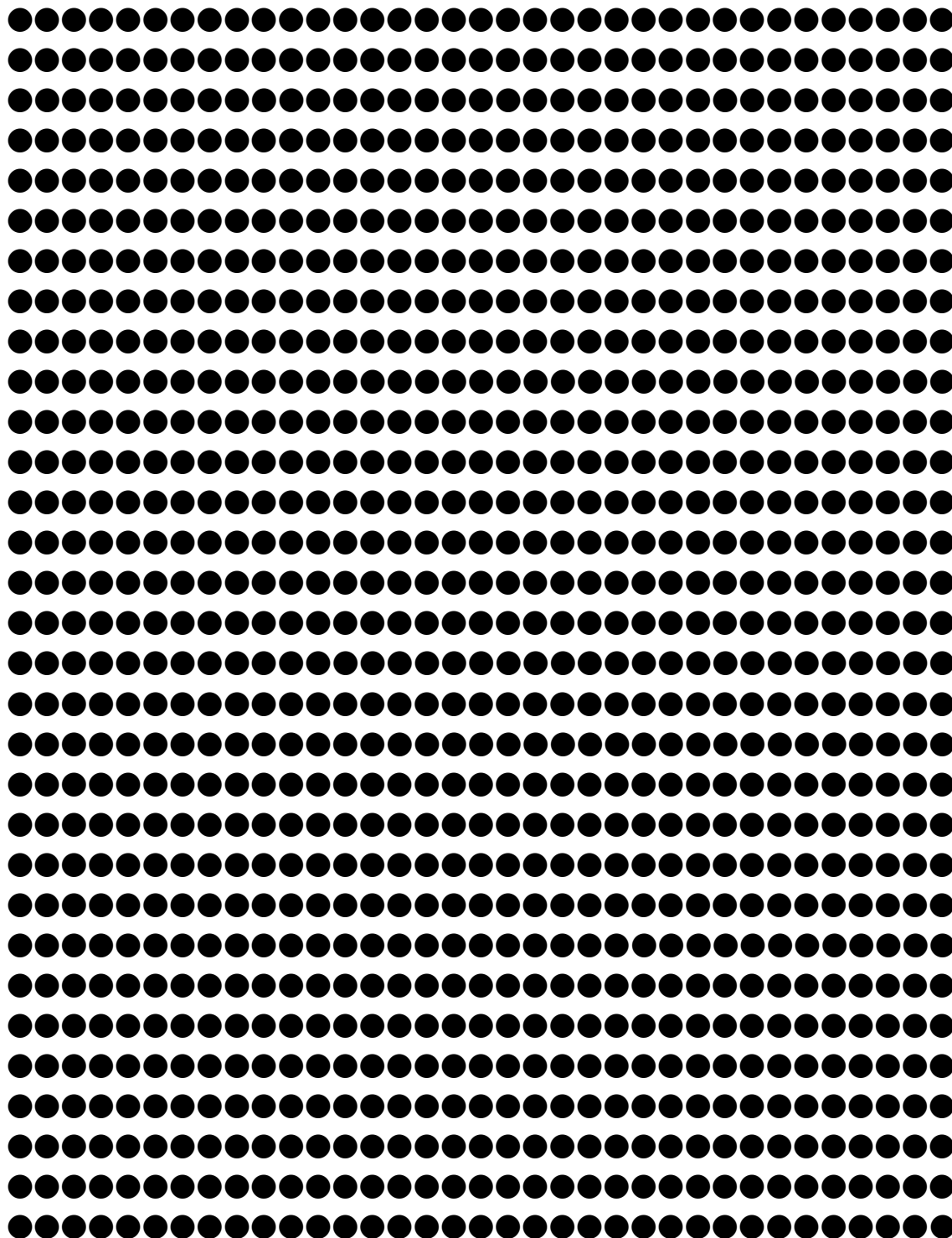
研究論文、学会等での発表については、同一小カテゴリーで複数の業績がある場合は、業績件数分、業績表紙の作成・提出が必要となります。

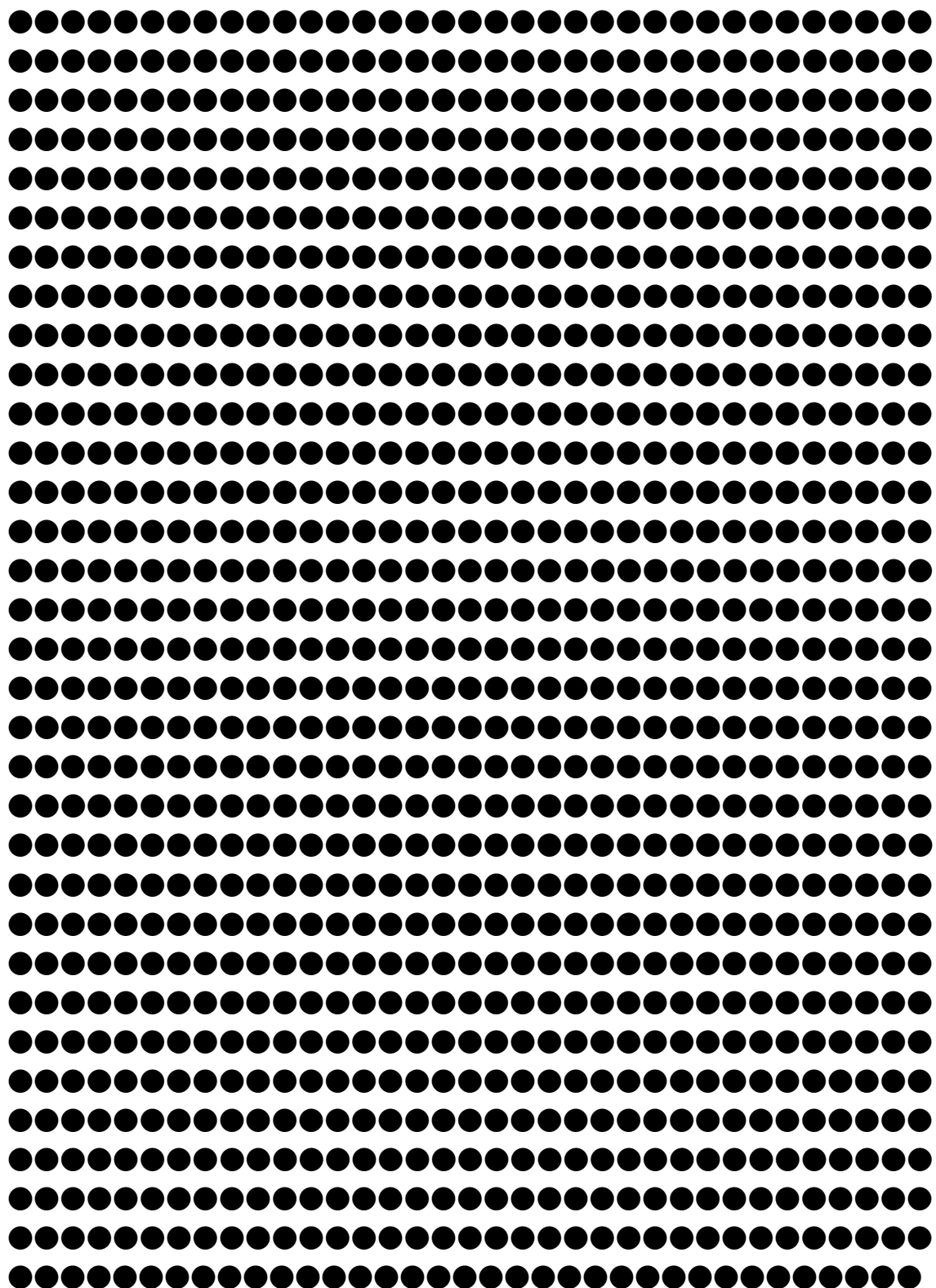
学 術 論 文

〇〇界におけるパラダイムシフトについて

神戸大学大学院〇〇研究科△△専攻博士課程前期課程2年

神戸 太郎





学術誌の表紙

日本〇〇学会
令和4年度
研究紀要

日本〇〇学会令和 4 年度研究紀要

目 次

●●●●●●●●●●●●●●●●●●			
○○大学××研究科△△専攻博士課程前期課程1年	▲▲ ▲▲ …	1	
○○界におけるパラダイムシフトについて			
神戸大学○○研究科△△専攻博士課程前期課程2年	神戸 太郎 …	8	
●●●●●●●●●●●●●●●●●●			
○○大学××研究科△△専攻博士課程後期課程1年	▲▲ ▲▲ …	15	
●●●●●●●●●●●●●●●●●●			
○○大学××研究科△△専攻博士課程前期課程1年	▲▲ ▲▲ …	23	
●●●●●●●●●●●●●●●●●●			
○○大学××研究科△△専攻博士課程後期課程3年	▲▲ ▲▲ …	30	
●●●●●●●●●●●●●●●●●●			
○○大学××研究科△△専攻博士課程前期課程2年	▲▲ ▲▲ …	38	

学術誌の発行日が記載されたページ

日本〇〇学会 令和 4 年度研究紀要

発 行 日本〇〇学会

発 行 日 令和 4 年 10 月 1 日



賞状

優秀論文賞

神戸大学〇〇研究科△△専攻博士課程前期課程2年 神戸 太郎 殿

学 術 論 文

〇〇界におけるパラダイムシフトについて

2022年9月13日

日本〇〇学会会長

● ● ● ● ● ●

業績表紙

学籍番号のアルファベットは大文字

資料通し番号	3
研究科(選択)	〇〇研究科
課程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎

業績大カテゴリー

1. 学位論文その他研究論文

業績小カテゴリー(選択)

1-3. 研究論文(国内で発表されたもの)

業績名称・・・論文題目(記入)

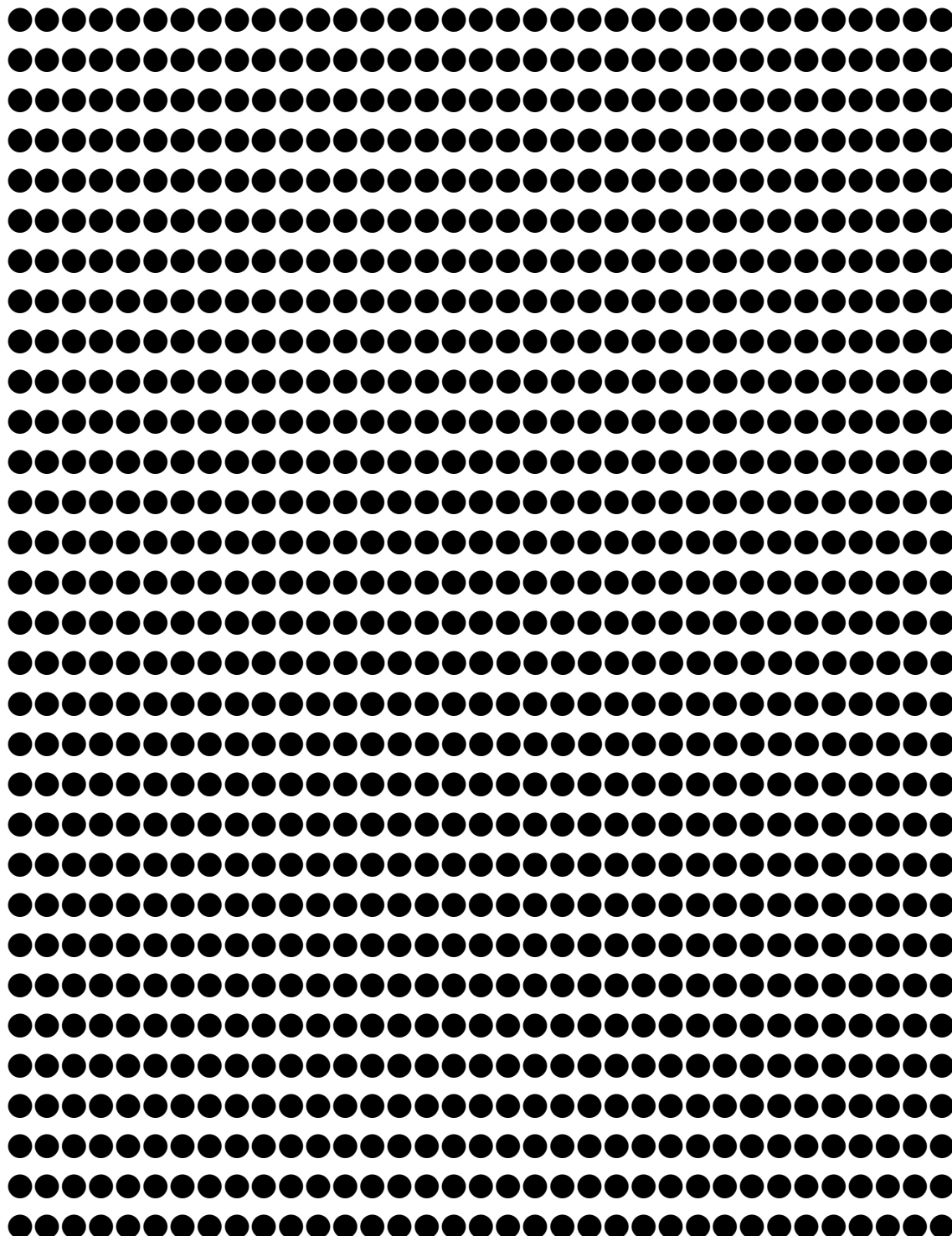
〇〇から学ぶ〇〇論

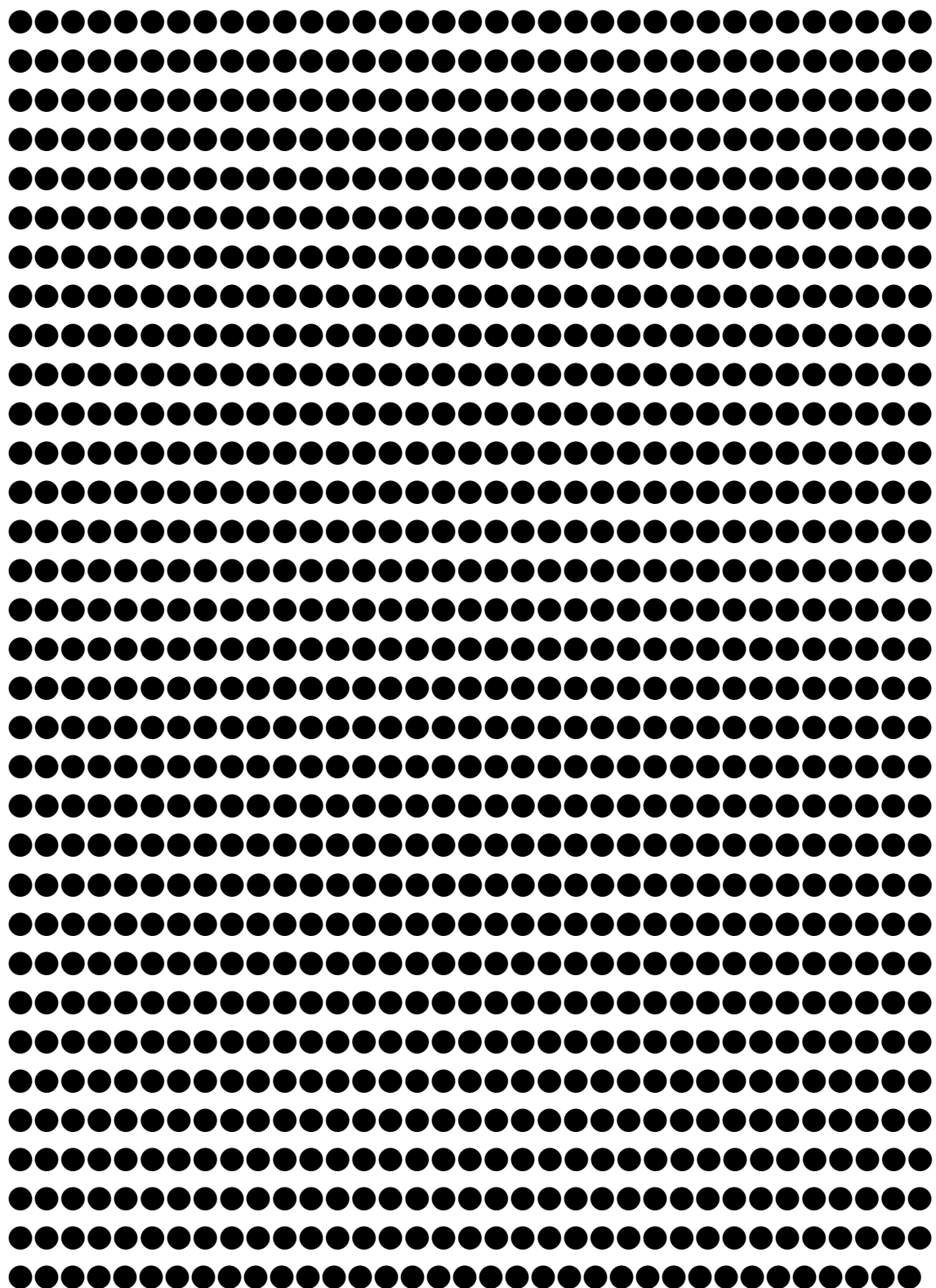
以下の項目が書かれたページを印刷して、この業績表紙の後ろに付けて提出してください。
複数の項目が書かれたページは、複数枚提出する必要はありません。
極力、両面印刷で作成してください。

提出チェック (該当するページ がない場合は「なし」と記入)	項目
✓	論文の表紙、1ページ目など、論文題目、申請者名(著者名)が明記されたページ(該当箇所をマーカーペンでマーク)
✓	論文本文の1～2ページ目
なし	【発表済みの場合】 学術誌の表紙、又はウェブサイトのトップページ
なし	【発表済みの場合】 学術誌又はウェブサイトの目次(論文題目、申請者名が明記されたページ)(該当箇所をマーク)
なし	【発表済みの場合】 学術誌又はウェブサイトの発行日(掲載日)が明記されたページ(日付をマーク)
✓	【発表前の場合】 掲載決定通知の写し(掲載決定通知日、掲載予定日をマーク) ※ 決定通知日が、返還免除申請日以前である必要がある。
なし	【受賞した場合】 賞状・決定通知等のコピー ※ 学術誌掲載における受賞は、独立した業績としては扱いません。

学 術 論 文
〇〇から学ぶ〇〇論

神戸大学大学院〇〇研究科△△専攻博士課程前期課程2年 神戸 太郎





Subject: 掲載決定通知（神戸大学〇〇論集）

From: ●● ●●

Date: 2022/9/13 10:56

To: ●●●●●●●●●●@stu.kobe-u.ac.jp

神戸 太郎 様

神戸大学〇〇論集編集局の●●と申します。

過日投稿いただいたあなたの学術論文について、
下記のとおり、掲載が決定しましたので、お知らせします。

記

論文題目： 〇〇から学ぶ〇〇論

掲載号： 神戸大学〇〇論集 第34号

掲載予定日： 令和5年3月2日

業績表紙

学籍番号のアルファベットは大文字

資料通し番号	4
研究科(選択)	〇〇研究科
課程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎

業績大カテゴリー

1. 学位論文その他研究論文

業績小カテゴリー(選択)

1-5. 学会等での発表（国内学会等）

業績名称・・・発表題目(記入)

〇〇界における〇〇の再構築について

以下の項目が書かれたページを印刷して、この業績表紙の後ろに付けて提出してください。
複数の項目が書かれたページは、複数枚提出する必要はありません。
極力、両面印刷で作成してください。

提出チェック (該当するページ がない場合は「なし」と記入)	項目
なし	【ポスター発表の場合】 ポスター(A4サイズに縮小印刷) (発表題目、申請者名をマーカーペンでマーク)
✓	【口頭発表(プレゼン形式)の場合】 プレゼン資料1～4ページ目(2UP・両面1枚で印刷) (発表題目、申請者名をマーク)
なし	【口頭発表(論文発表のみ)の場合】 論文本文の1～2ページ目 (発表題目、申請者名をマーク)
✓	学会プログラムの表紙、又はウェブサイトのトップページ
✓	学会プログラムの開催日・発表日が明記されたページ (学会開催が複数日程の場合は、申請者の発表日が明記されたページ) (該当箇所をマーク)
✓	学会プログラムのタイムテーブル、発表者一覧、ブース一覧など、 発表題目、申請者名が明記されたページ (該当箇所をマーク)
✓	【学会プログラムが、論文集・講演予稿集・抄録集を兼ねている場合】 当該論文等が掲載された冒頭1～2ページ(論文表紙がある場合は表紙も提出) (発表題目、申請者名をマーク) ※ この場合は、当該論文等は独立した業績としては扱いません。
なし	【受賞した場合】 賞状・決定通知等ののコピー ※ 学会等発表における受賞は、独立した業績としては扱いません。

研究論文、学会等での発表については、同一小カテゴリーで複数の業績がある場合は、業績件数分、業績表紙の作成・提出が必要となります。

【口頭発表(プレゼン形式)の場合】
プレゼン資料1～4ページ目(2UP・両面1枚で印刷)
(発表題目、申請者名をマーク)

〇〇界における〇〇の 再構築について

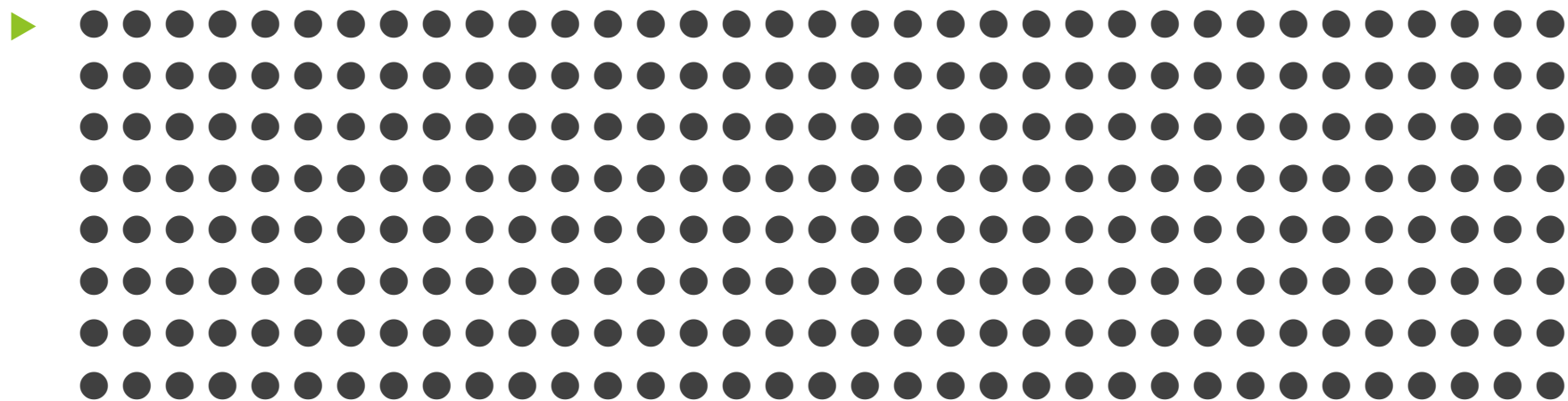
神戸大学〇〇研究科△△専攻 博士課程前期課程2年
神戸 太郎

2022年9月13日

日本近代〇〇学会関西支部研究会

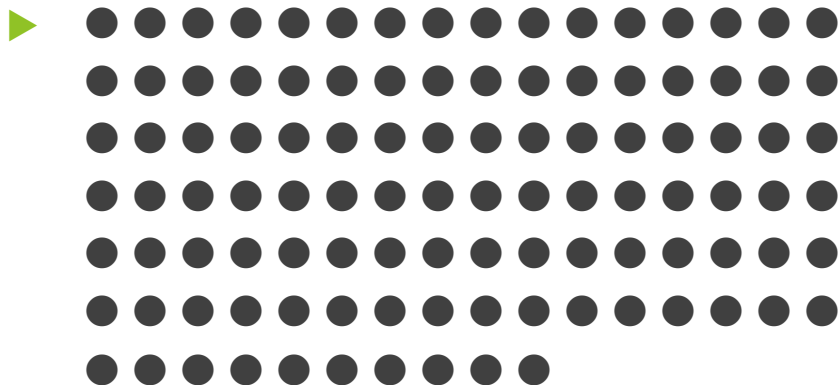
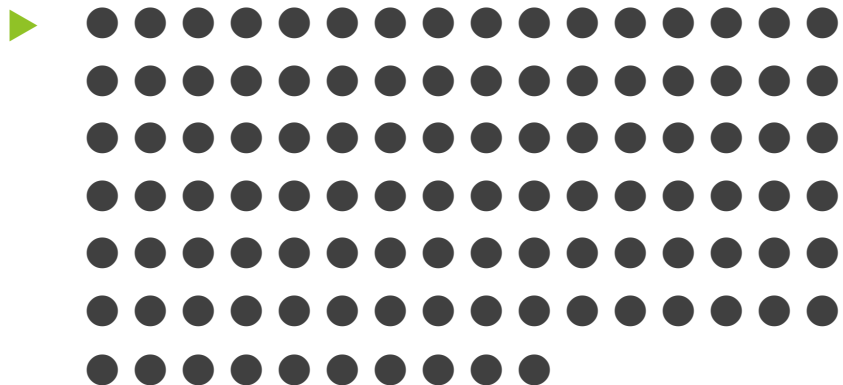
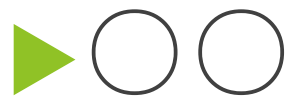
(仮説)

〇〇界における〇〇を疑ってみる



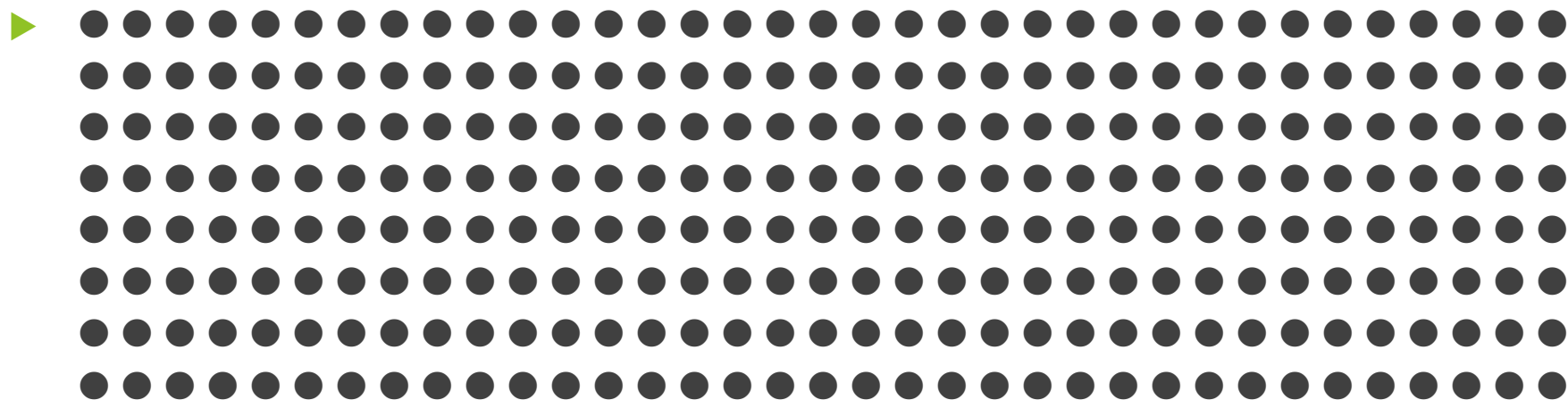
(徹底比較)

〇〇界における〇〇と▲▲



(問題提起)

〇〇界における〇〇は■ ■なのか



学会プログラムの表紙

第26回 日本近代〇〇学会 関西支部研究会 プログラム

学会の開催日が明記されたページ(該当箇所をマーク)

開催日: 2022年9月13日・14日

会場: ●●大学★★キャンパス

第 26 回

日本近代〇〇学会関西支部研究会

開催日程

※ 学会開催が複数日程の場合は、申請者の発表日が明記されたページ

第1日(9月13日)

第1会場: B棟210教室

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●



● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

▲▲▲▲

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●



申請者の発表日は、発表題目、申請者名が明記されたページと別のページに掲載されていることがしばしばあるため、コピーを取り忘れないよう、留意すること。

発表題目、申請者名が明記されたページ(該当箇所をマーク)

10:40~

●●●●●●●●●●●●●●●●

○○大学××研究科△△専攻博士課程後期課程1年

▲ ▲ ▲ ▲

11:00~

●●●●●●●●●●●●●●●●

○○大学××研究科△△専攻博士課程前期課程1年

▲ ▲ ▲ ▲

11:20~

●●●●●●●●●●●●●●●●

○○大学××研究科△△専攻博士課程後期課程3年

▲ ▲ ▲ ▲

11:40~

●●●●●●●●●●●●●●●●

○○大学××研究科△△専攻博士課程前期課程2年

▲ ▲ ▲ ▲

(昼休み)

13:00~

〇〇界における〇〇の再構築について

神戸大学〇〇研究科△△専攻博士課程前期課程2年

神戸 太郎

13:20~

●●●●●●●●●●●●●●●●

○○大学××研究科△△専攻博士課程後期課程1年

▲ ▲ ▲ ▲

13:40~

●●●●●●●●●●●●●●●●

○○大学××研究科△△専攻博士課程前期課程1年

▲ ▲ ▲ ▲

14:00~

●●●●●●●●●●●●●●●●

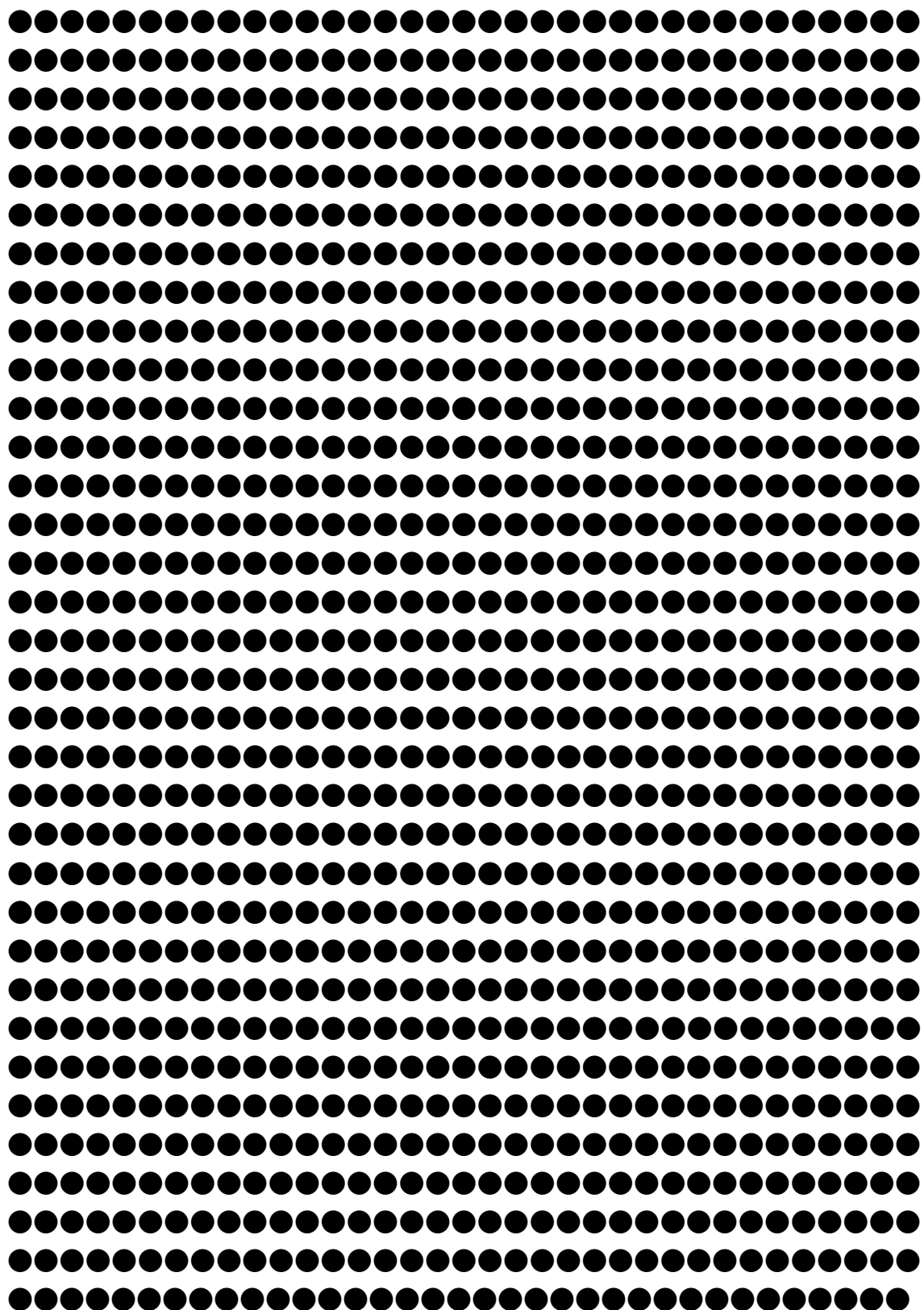
○○大学××研究科△△専攻博士課程後期課程3年

▲ ▲ ▲ ▲



神戸 太郎

A high-resolution, dense grid of black dots arranged in a uniform pattern across the entire image. The dots are small, circular, and evenly spaced, creating a textured, halftone-like effect. The pattern is consistent and covers the entire area without any visible borders or variations.



業績表紙

学籍番号のアルファベットは大文字

資料通し番号	5
研究科(選択)	〇〇研究科
課程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎

業績大カテゴリー

1. 学位論文その他研究論文

業績小カテゴリー(選択)

1-10. 日本学生支援機構以外の外部資金・給付型奨学金の獲得(研究支援を主目的とするもの)

業績名称・・・外部資金・給付型奨学金の名称

公益財団法人〇〇財団研究助成金

以下の項目が書かれたページを印刷して、この業績表紙の後ろに付けて提出してください。

提出チェック	項目
✓	採用決定通知又は奨学生証のコピー



奨学生証

公益財団法人〇〇財団研究助成金

神戸 太郎 殿

給付期間: 2022年4月～2023年3月
給付額: 月額8万円

公益財団法人〇〇財団 理事長



業績表紙

学籍番号のアルファベットは大文字

資料通し番号	6
研究科(選択)	〇〇研究科
課程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎

業績大カテゴリー

7. 研究又は教育に係る補助業務の実績

業績小カテゴリー(選択)

7-1. ティーチングアシスタント(TA)／シニアティーチングアシスタント(STA)の実績

以下の項目が書かれたページを印刷して、この業績表紙の後ろに付けて提出してください。
同一小カテゴリーの実績は、複数回実施している場合でも、資料通し番号1件として提出してください。

小カテゴリーの異なる実績は、別の資料通し番号を付けて提出してください。

提出チェック (該当する書類ない場合は「なし」と記入)	項目
✓	補助業務実績レポート(神戸大学様式⑤-1～⑤-4)
以下の書類は、提出できるものがあれば、全て提出してください。ただし、紛失等した場合、再発行するかどうかは任意とします。	
なし	委嘱状、採用決定通知等のコピー
なし	業務内容通知書のコピー
なし	出勤簿、勤務状況記録簿等のコピー
なし	実施報告書(研究科等へ提出した様式)のコピー

業績大カテゴリー

7. 研究又は教育に係る補助業務の実績 に係る「補助業務実績レポート」

業績小カテゴリー

7-1. ティーチングアシスタント(TA)／シニアティーチングアシスタント(STA)の実績

※ 年度、年については西暦で記入。

研究科(選択)	〇〇研究科
課 程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎
指導教員名	●● ●● 教授

実績番号1

従事期間	2022 年度	2022 年 4 月	～	2022 年 7 月
従事時間数(計)	30 時間	科目開講区分(選択)	学部 (専門科目)	
担当科目名	●●●●論			
担当教員名	▲▲ ▲▲ 准教授			
主な従事内容	授業レジュメ作成補助、オンライン授業補助、出欠確認等			

実績番号2

従事期間	年度	年 月	～	年 月
従事時間数(計)	時間	科目開講区分(選択)	学部(全学共通授業科目)	
担当科目名				
担当教員名				
主な従事内容				

実績番号3

従事期間	年度	年 月	～	年 月
従事時間数(計)	時間	科目開講区分(選択)	学部(全学共通授業科目)	
担当科目名				
担当教員名				
主な従事内容				

実績番号4

従事期間	年度	年 月	～	年 月
従事時間数(計)	時間	科目開講区分(選択)	学部(全学共通授業科目)	
担当科目名				
担当教員名				
主な従事内容				

※ 5科目以上担当した場合は、別シートを作成し、実績番号を5～と書き換え、入力してください。

業績表紙

学籍番号のアルファベットは大文字

資料通し番号	7
研究科(選択)	〇〇研究科
課程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎

業績大カテゴリー

7. 研究又は教育に係る補助業務の実績

業績小カテゴリー(選択)

7-2. リサーチアシスタント(RA)／JSTリサーチアシスタントの実績

以下の項目が書かれたページを印刷して、この業績表紙の後ろに付けて提出してください。
同一小カテゴリーの実績は、複数回実施している場合でも、資料通し番号1件として提出してください。

小カテゴリーの異なる実績は、別の資料通し番号を付けて提出してください。

提出チェック (該当する書類ない場合は「なし」と記入)	項目
✓	補助業務実績レポート(神戸大学様式⑤-1～⑤-4)
以下の書類は、提出できるものがあれば、全て提出してください。ただし、紛失等した場合、再発行するかどうかは任意とします。	
なし	委嘱状、採用決定通知等のコピー
なし	業務内容通知書のコピー
なし	出勤簿、勤務状況記録簿等のコピー
なし	実施報告書(研究科等へ提出した様式)のコピー

業績大カテゴリー

7. 研究又は教育に係る補助業務の実績 に係る「補助業務実績レポート」

業績小カテゴリー

7-2. リサーチアシスタント(RA)／JSTリサーチアシスタントの実績

研究科(選択)	〇〇研究科
課 程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎
指導教員名	●● ●● 教授

※ 年度、年については西暦で記入。

実績番号1

従事期間	2021 年度	2021 年 8 月	～	2022 年 3 月
従事時間数(計)	90 時間			
担当教員名	●● ●● 教授			
主な従事内容	●●に関するフィールドワーク補助、データ集計・分析等			

実績番号2

従事期間	年度	年	月	～	年	月
従事時間数(計)	時間					
担当教員名						
主な従事内容						

実績番号3

従事期間	年度	年	月	～	年	月
従事時間数(計)	時間					
担当教員名						
主な従事内容						

実績番号4

従事期間	年度	年	月	～	年	月
従事時間数(計)	時間					
担当教員名						
主な従事内容						

※ 5件以上担当している場合は、別シートを作成し、実績番号5～と書き換え、入力してください。

業績表紙

学籍番号のアルファベットは大文字

資料通し番号	8
研究科(選択)	〇〇研究科
課程(選択)	博士課程前期課程
学籍番号	〇〇〇L〇〇〇L
氏 名	神戸 太郎

業績大カテゴリー(選択)

8. (専攻分野に関連した)音楽, 演劇, 美術その他芸術の発表会における成績

業績小カテゴリー(選択)

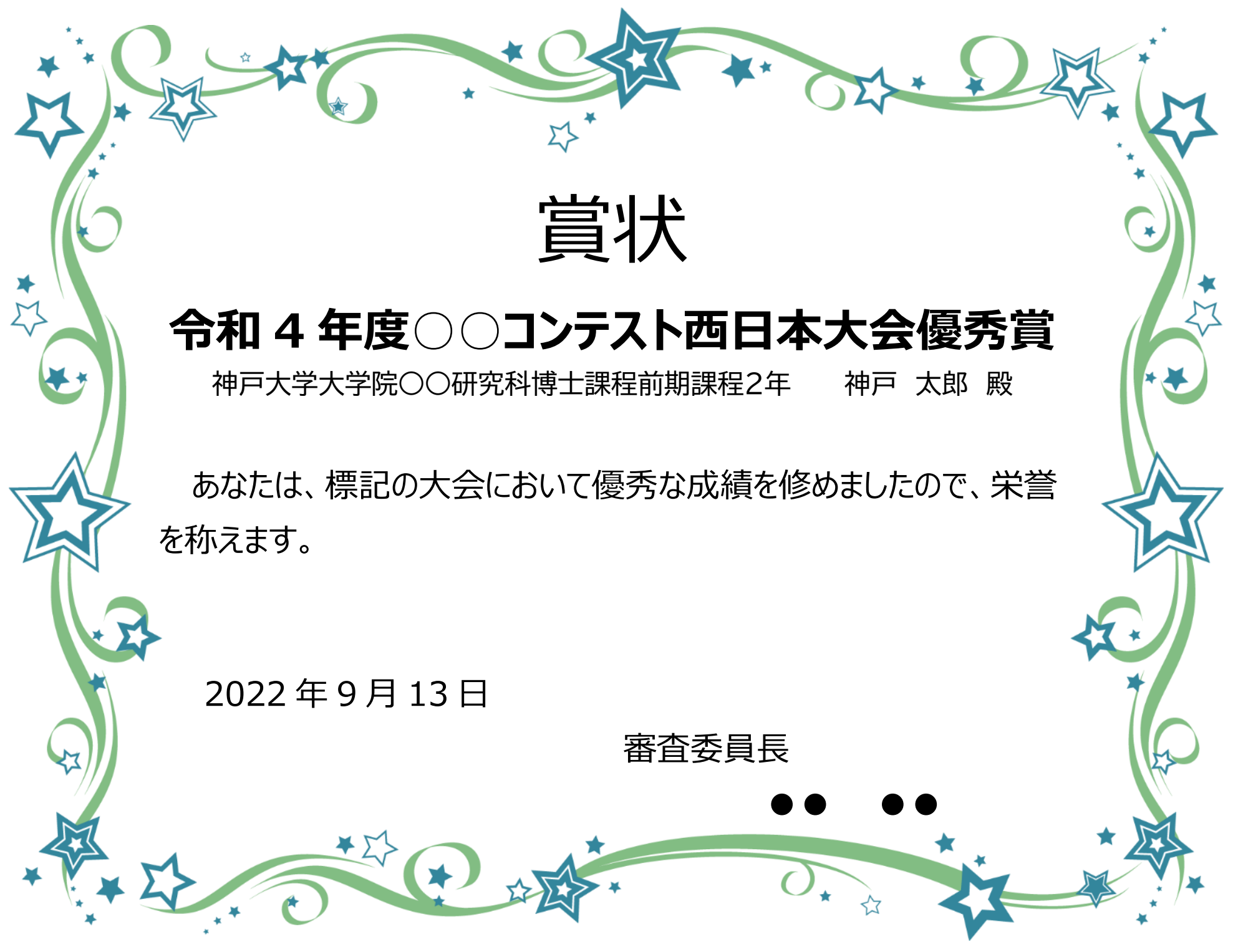
8-1. (専攻分野に関連した)音楽, 演劇, 美術その他芸術の発表会における成績

業績名称(記入)

令和4年度〇〇コンテスト西日本大会優秀賞

以下の書類のうち提出できるもの(少なくとも1点)を、この業績表紙の後ろに付けて提出してください。

提出チェック (該当する書類がない場合は「なし」と記入)	項目
✓	表彰状
なし	活動内容・実績を伝える新聞・メディア記事等(コピー可)
なし	活動内容・実績を自身で簡潔にまとめたレポート(A4用紙1~2ページ枚程度、任意様式)
なし	【大カテゴリー8のみ】 作品のコピー、写真等(A4用紙に統一すること)
なし	【大カテゴリー10のみ】 ボランティア活動に対する感謝状、又は主催者等が作成した活動内容・実績の証明書(A4用紙1~2ページ枚程度、任意様式)
なし	その他、活動内容・実績を証明する書類(A4用紙数ページ程度)



賞状

令和 4 年度〇〇コンテスト西日本大会優秀賞

神戸大学大学院〇〇研究科博士課程前期課程2年 神戸 太郎 殿

あなたは、標記の大会において優秀な成績を修めましたので、栄誉
を称えます。

2022 年 9 月 13 日

審査委員長

● ● ● ●